



一中だより

学校教育目標 自主・練磨・敬愛

目指す学校像 「笑顔と活力あふれる学校」

秋本番、素晴らしい成果を・・・

今月11日と12日に中間テストが実施されました。一人一人が成果と課題を分析し、来月21日と22日に実施予定の期末テストの糧にして欲しいと思います。8月30日から2学期が始まり1か月半が経ちました。1学期同様、全体的にはどの学年も大変落ち着いた学校生活を送っています。また、今学期は多くの学校行事や学年行事が控えており、行事の成功に向けて着々と準備をしている最中です。保護者の皆様におかれましては、機会を見つけて御来校いただき、本校生徒と教職員の努力や姿勢・意欲を御覧いただきたく思います。

今月は、生徒会本部役員の認証式や英語祭のスピーチ披露など、様々な行事があるために学校朝会が開催できなかったので「一中だより」を通して、私が伝えたいことを述べたいと思います。

『下足番を命じられたら、日本一の下足番になってみろ。そうしたら誰も君を下足番にしておかぬ』

この言葉は、現在の阪急阪神東宝グループの創業者として活躍した、小林 一三 氏が述べた言葉です。この名言の中に出てくる“下足番(げそくばん)”とは、お客さんの履き物の出し入れをする仕事です。この言葉の意味は「どのような仕事でも、努力や創意工夫を惜しんではならない。自分の役割や役目に邁進し続けることこそが大切である」と言われています。

もしかしたら、皆さんの中には「なぜ勉強するのか意味がわからない」とか「何に努力していいのかわからない」という気持ちになっている人がいるかもしれません。そのような気持ちが出てきて、心の中がモヤモヤしていたら、ぜひこの『下足番を命じられたら、日本一の下足番になってみろ。そうしたら誰も君を下足番にしておかぬ』という言葉思い出して、目の前にある課題や困難に立ち向かってください。皆さんに求められていることは、これまでと同様に落ち着いた学校生活であり、毎日の学習や運動、仲間とのコミュニケーション、学級や学年・学校で与えられた役割など、数えきれないくらいたくさんあります。楽しいことや面白いこと、自分が興味を持ったことには、全力で一生懸命取り組み、自分の能力を存分に発揮してください。その一方で、辛いことや苦しいことがあっても『下足番を命じられたら、日本一の下足番になってみろ。そうしたら誰も君を下足番にしておかぬ』を思い出して、頑張って踏みとどまる努力をしてください。フランスの哲学者シモーヌ・ヴェイユが述べた『未来は現在と同じ材料できている』や『レジリエンス』といった言葉も、小林 一三 氏の名言と同じように困難に立ち向かう姿勢を表現しています。しかし、もしも頑張って踏みとどまる努力をしている最中に「どうしても踏みとどまれない」と思ったら、周りの人に助けを求めることも忘れないでください。

気候もよくなり、様々なことに集中して取り組むことができる季節になりました。秋本番、皆さんの素晴らしい成果を期待しています。

新人体育大会、お疲れさまでした！

先月20日（水）から秋分の日を除いた24日（日）までの4日間、新人体育大会川越市予選会が各会場で開催されました。残念ながら、今回の大会では埼玉県大会に出場する運動部はありませんでしたが、本校生徒は一中生として誇らしい姿を見せてくれました。今回の大会で得たものを胸に刻んで、来年度の大会を迎えて欲しいと思います。



【 男子卓球 】



【 剣道 】



【 女子テニス 】



【 男子バスケット 】



【 サッカー 】



【 女子バスケット 】

「いのちの講座」を行いました

先月15日に「いのちの講座」を第2学年の各教室と体育館で実施しました。この学習では、16名の可愛い赤ちゃんが参加してくれました。16名の中には、本校職員の〇〇教諭の赤ちゃんや、昨年度まで本校に在籍していた〇〇教諭の赤ちゃんにも御来校していただきました。2年生の生徒たちにとって大変貴重な経験ができた2時間だったと思います。御協力いただいた赤ちゃんとお家族の方、そして事務局の「川越子育てネットワーク」の皆様には厚く御礼申し上げます。



今後の予定(概要)です

10月の生活目標:信頼 **11月の生活目標:勉学**

- 【 10月16日（月） 川越市中学校駅伝競走大会（会場：川越運動公園） 】
- 【 10月25日（水） 第2学年・保護者会 】
- 【 10月26日（木） 第3回学校運営協議会 】
- 【 10月31日（火） 合唱祭（会場：ウェスタ川越） 】

川越市教育委員会等の指示により、上記の予定に変更や追加があった場合は、改めて御連絡いたします。

